

令和4年10月27日

能代市教育委員会 10月定例会会議録

能代市教育委員会

令和4年10月27日、能代市教育委員会定例会を能代市役所二ツ井町庁舎2階庁議室において、午後2時に開会した。

○出席の委員は、次のとおりである。

教育長	高 橋 誠 也
委 員	木 村 高 寛
委 員	西 村 省 一
委 員	中 嶋 佐千子
委 員	寺 田 恵美子

○説明のため出席した者は、次のとおりである。

教育部長	伊 藤 勉
教育部次長	関 俊 英
教育総務課長	柳 谷 敬
能代教育事務所長	本 間 将
学校教育課長	矢田部 瑞 穂
学校教育課参事	三 洲 龍 太
学校給食センター所長	工 藤 久美子
生涯学習・スポーツ振興課 文化財保護室長	山 崎 和 夫
教育総務課長補佐	秋 林 純

○本日の会議に付した事件

日程第1 会期の決定

日程第2 会議録署名員の決定

日程第3 前回定例会会議録の承認

日程第4 教育長報告

日程第5 議 事

議案第39号 能代市教育支援委員会委員の任命について

議案第40号 令和4年度の能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出
について

日程第6 その他

【日程第1 会期の決定】

○教育長

本定例会の会期は、本日1日限りとし、会議時間を午後4時までとする。

【日程第2 会議録署名員の決定】

○教育長

会議録署名員に、2番木村委員と6番寺田委員を指名する。

【日程第3 前回定例会会議録の承認】

○教育長

委員の皆さんから異議がないので、前回9月定例会会議録を承認する。

【日程第4 教育長報告】

○教育長

前回定例会以降の行事等について報告。

9月27日(火) ICTを活用した授業改善支援事業授業研究協議会

(能代第一中学校)

9月30日(金) 教育委員会訪問(二ツ井小学校、能代南中学校)

10月 1日(土) 能代市グラウンド・ゴルフ場オープニングセレモニー

(能代市グラウンド・ゴルフ場)

10月 5日(水) 令和4年度 教育条件整備等に関わる校長会要望

(二ツ井町庁舎 庁議室)

10月 5日(水) 第58回能代市山本郡公民館大会 令和4年度能代市山本郡社会教育
委員研修会(藤里町総合開発センター)

10月 7日(金) カリキュラム・マネジメント第2回検討会議

(二ツ井町庁舎 大会議室)

10月13日(木) 令和4年度全州市町村教育委員会教育長会議(県庁第二庁舎)

10月15日(土) 第28回きみまちの里フェスティバル(～16日)

10月16日(日) 第28回きみまち二ツ井マラソン

10月19日(水) 奨学金選考委員会(新庁舎 会議室8)

10月20日(木) 教育委員会訪問(向能代小学校、能代第二中学校)

10月26日(水) 能代山本市町教育委員会連合会研修会(子ども館)

10月27日(木) 教育委員会定例会(二ツ井町庁舎 大会議室)

10月28日(金) 教育委員会訪問(浅内小学校、二ツ井中学校)

10月31日(月) 市議会10月臨時会(～11/4)

11月 7日(月) 教育委員会訪問(淳城南小学校、東雲中学校)

11月 8日(火) 第2回能代市社会教育委員の会議(新庁舎 会議室7)

11月 8日(火) 令和4年度秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県郡市教育長協
議会合同研修会(秋田市役所)

11月 9日(水) 令和4年度第1回県北地区教育長会議(北秋田地域振興局)

11月11日(金) 教育委員会訪問(能代東中学校)

11月16日(木) 教育委員会訪問(淳城西小学校、能代第一中学校)

11月16日(木) 教育支援委員会(新庁舎 会議室9・10)

11月17日(木) 教育委員会訪問(第五小学校)

11月17日(木) 令和4年度能代市教育委員会による校長面接

(二ツ井町庁舎 3階会議室1)

11月18日(金) 令和4年度能代市教育委員会による校長面接

(二ツ井町庁舎 庁議室)

11月18日(金) 史跡檜山安東氏城館跡調査整備委員会(檜山崇徳館)

1 1 月 2 1 日(月) 能代っ子中学生ふるさと会議(能代市文化会館 大ホール)

1 1 月 2 4 日(木) 教育委員会定例会(新庁舎 会議室 9・10)

○木村委員

奨学金選考委員会の内容について伺いたい。

○学校教育課長

奨学金は、能代市奨学金と、ふるさと人材育成・定住促進奨学金の2種類あるが、両奨学金とも応募理由等の確認を行い、応募者全員を採用することとしたが、定員に少し満たないので、追加募集することとした。

○西村委員

奨学金選考委員として初めて参加したが、少し感想を述べたい。コロナ禍で、経済的に非常に苦しい方が見受けられた。小論文形式で、将来の夢や目標を書いていたが、どの子供も目標をしっかりと持ち、能代へ貢献したいということを、強く書いていた。進学後、継続して夢を描き続け、能代へ帰ってきてほしいとの思いを、さらに強くした。

○木村委員

教育支援委員会では何を検討するのか。

○学校教育課長

学校から、支援を必要とする子供の資料が教育委員会へ提出され、それを基に支援員の配置や支援学級への入級及び支援学校への入学を検討する。全部で400人程の確認が必要なため、事前に資料を配付し確認してもらった上で、参集する予定としている。子供たちの困り感に寄り添えるよう、こういった支援が可能かを話す場となる。

○教育長

補足する。支援が必要な子供は、特別支援学校入学、特別支援学級入級、普通学級だが支援員を配置、という段階に分けられる。子供を専門の方に診てもらい検査をする方、普段の授業の様子を専門の先生に見てもらう方、専門医により普段から診てもらう方等がいる中で、そういった先生方、特別支援学校の先生、幼稚園の先生等へ、事前に資料を渡し、来年度こういった体制が良いか、親の希望も聞いた上で検討していく。

この支援学校と支援学級には、ある程度の基準があるが、支援員をつける場合は、普通の学校の中でどのような学びをしているかを見つつ、学年が進むにつれて、自立できるように、低学年に手厚く支援員をつけることを、ドクターと相談して実施している。

能代市独自の方法として、特別支援教室があり、特別支援学級ではないが、普通学級からちょっとクールダウンさせたり、団体、集団から抜けて勉強させたりする教室として、退職した先生等を充てて実施している。これは豊島区から学んだことで、今、非常にニーズが高く、効果も出ているところである。

○木村委員

大変だと思うが、教育の質に関わる部分であるため、よろしく願いたい。

【日程第5 議事】

○教育長

「議案第39号 能代市教育支援委員会委員の任命について」説明を願う。

○学校教育課長

議案第39号 能代市教育支援委員会委員の任命について《資料により説明》

○教育長

異議がないので、「議案第39号」を可決する。

次に「議案第40号 令和4年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について」説明を願う。

○教育部次長

議案第40号 令和4年度の能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
《資料により説明》

○教育長

異議がないので、「議案第40号」を可決する。

【日程第6 その他】

○教育長

「その他」について

各課から 報告事項や連絡事項があれば、願います。

○教育部次長

第28回きみまちの里フェスティバルについて《資料なし》

○学校教育課長

令和4年度全国学力・学習状況調査能代市分析結果について《資料により説明》

○教育長

質問等をお願いします。

○木村委員

全国学力・学習状況調査能代市分析結果の12ページのところで、秋田の探究型授業にICTをうまく機能させ、一生懸命研鑽を積んでいるところと思うが、私は、学校の授業は板書が基本だと思う。豊島区の三田前教育長が、子供の学びがいい、この時間学んだなという実感や、先生には教えがいを感じられる授業を見た、以前話されていた。教えた先生も、今日のこの1時間は充実していたな、子供から手応えを感じたな。タブレットやICTでそういう授業が行われなとは言わないが、やはり基本は板書。タブレットやICTはあくまでもそのツールであるという、その足の置き場所だけはきちんとしていたきたい。授業においてICTと板書の比率は何対何ぐらいの形で進められているのか。

○学校教育課長

4対6程度か。昨日、第一中学校で、社会科の教育専門監の授業を見た。非常に効果的なICTの使い方をしていることに感心したが、その使い方としては、例えば、今まで、子供たちに発表させる時に、ノートに書いている良いことを再度、別の大きい紙に書かせ黒板に貼るというような、2度繰り返す作業をしていたものを、子供たちがそのキーワードや必要な写真等をICTに取り込んでおくことで、発表する時にその子の発表画面がぱっと出てくる。繰り返さずとも、すぐに発表でき、聞いている方もわかりやすい内容になっていた。ノートも使用しており、板書は今までの秋田の探究型と変わりなく整えられた構造的な板書だった。どこでどのように使うかという点で課題はあるが、教育専門監が各校で授業を見せているので、良い使い方が定着していくものと思っている。

○教育長

先生には個人差はあるが、やはり板書を見ると、今日の学びが分かる素晴らしい板書を

している先生方はたくさんいる。すべて画面で全部消えて終わるということではなく、学習課題から最後の振り返りまできちんと黒板に残るよう、授業を行っている。

○中嶋委員

今の世の中は、大学生、社会人になると、パソコンを使い、私はこう思うとアピールするためにプレゼンが必要な社会となっている。それを中学生の頃から、このように学んでいるのは素晴らしいことだと、感心した。

○学校教育課長

小学生も同様な教材の型を使ってできるようになっている。

○木村委員

神馬元教育長が話されたことだが、プレゼンや様々なことをできるような、自分の意見をしっかりとと言える子供たちを育てたく、それに注力しすぎたゆえに、人の話を聞ける子供を育てることができず、後悔している、と。プレゼンも大切だが、反面、人の話を受け入れる子供と一緒に育てていかなければならないのではないかということを、神馬元教育長から言われたことがちょっと残っている。両方頑張ってほしい。

○学校教育課長

聞くことができなければ、つなげて話し合いができない。学び合いの部分は、秋田県の探究型として重要視しているので、聞くことも同時に育てられていると考える。

○寺田委員

木村委員が話す板書のことに加えて、奨学金の選考にあたり小論文が提出されていること等に関し、スマホ、タブレット、パソコンを使うことで、私は、余りにも文字を覚えていないなということが最近あった。すべて変換された文字が出てくるため、書くということが、これからどうなっていくのかを少し考えさせられた。子どもやその友人たちが入試等の願書を書くときなど、先生方が、住所もちゃんと書けていない、漢字を整えて書けていない、ひらがなばかりだ、というようなことを話されていたことを思い出した。やはり書くということも、これからも大事にしていきたいと思う。

○学校教育課長

教育委員会訪問をしていると、タブレットで長々と文章を打たせている授業もあり、それについては指導している。いかに効果的に使用するかが大事であるため、厳しくチェックしている。書くことについては、ノートをきちんと使うこともあわせて指導していきたい。

○教育長

他に質問等がないようなので、質疑を終了する。

続いて、委員から本日の議事や報告事項等以外で、意見等があれば、発言をお願いします。

○木村委員

学問をするというのは、自分のため、人のためにするものではない。人間に生まれてきた人間が大事だから学問をするのである。そして、その知恵、知識が、優しさ、思いやりが変わっていかなければいけないというのが、前提である。昨日、能代山本市町教育委員会連合会の委員研修が、子ども館で開催されたが、大変実のある研修だった。地球と他の惑星を比較し、二酸化炭素や水の構成、配分率が、地球だけ人間の住める環境となっていることを実験で示してくれた。知識だけではなく、経験としての知恵を学ぶ機会となった。実践の知識が、環境、生活、命に関わっていき、自分が生きているではなく、地球が私たちの命を支えてくれている。ならば環境をどうしていかなければならないか、ということこ

ろまで学びが進んでいくような気がした。

○教育長

他に意見等がないようなので、終了する。

以上で予定された事項は、すべて終了した。

次回の定例会は、11月24日木曜日午後2時から、能代市役所新庁舎3階会議室9・10において開催したい。

本日の定例会を閉会する。

午後2時40分閉会